

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

児童デイすぎと いちばん星

公表日 2026 年 2 月 13 日

利用児
童数

13名

回収数

10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	3		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	4	他の子どもとの活動は重要視していない。 交流は希望していない。	貴重なご意見ありがとうございます。公園遊び時に一緒に遊びをするなど、偶発的な機会ではありますが、一部交流がございます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9			1		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2		1	定期的ではないが、聞いたら答え てくれると思うので満足してい る。	貴重なご意見ありがとうございます。個別支援計画 書更新時や、毎月のアンケートで困りごとを認知す る機会とさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が 設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベント の開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの 支援がされていますか。	3	4	1	2	保護者会に参加した。きょうだい 児については機会があれば参加し た。	貴重なご意見ありがとうございます。同法人を含 み、きょうだいでご利用されているご家庭を優先 してご支援させていただいております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているととも に、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相 談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思 いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信さ れていますか。	8	1		1	SNSに活動している様子を載せて くれると嬉しい。	貴重なご意見ありがとうございます。SNSは個人情 報の取り扱いの観点からHPのみ活動内容を掲載して おります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	7	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	2			現在不安定のためわからない。	貴重なご意見ありがとうございます。安心してご利用 できるようより良い環境を整えて支援させていた できます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	3			いつも楽しみにしている。 職員と話すことを楽しみにしてい る。	貴重なご意見ありがとうございます。大変励みとな ります。全利用者が楽しみになるよう、活動プログ ラムの幅を広げてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1			満足している。	貴重なご意見ありがとうございます。より手厚い支 援ができるよう職員のスキルアップを行ってまいり ます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイすぎと いちばん星				公表日	2026 年 2 月 13 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	個室を開放し、フロアが手狭にならないようにしている	利用者が大きくなっているため手狭に感じることがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	個別対応が必要な利用者に対して、適した職員を配置している	職員が体調不良などで欠勤すると活動の幅が狭くなることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	適宜バーションを利用し、仕切りを作っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	支援前、支援後にそれぞれ清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個室の使用を許可している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		一部職員にとどまっている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者会の実施を行っている。	保護者会とは別で気軽に参加できるような会話の場を設けることが出来なかった。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	施設長に集約し、改善している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		一部にとどまっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	適切な研修がある場合、実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPIにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	活動が飽きないように、日々工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、て支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	課題が表出したときに、相談支援員をはじめとして支援者会議の開催を依頼している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		例年同法人である事業所と合同で行っていたが、室内に入れる人数を超えていたため別で開催した。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

○事業所名	児童デイすぎと いちばん星			
○保護者評価実施期間	2026 年 1 月 6 日 ～ 2026 年 2 月 6 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026 年 1 月 6 日 ～ 2026 年 2 月 6 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 2 月 12 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設外活動（公園遊び、散歩、買い物体験、公共施設利用、等）	雨天時や行事、やむおえないような状況以外では、ほぼ毎日必ず公園に行き外遊びを行なっている。ご家庭からのご意見にも「普段なかなか公園に連れて行ったり、お店に連れて行ったりが難しい」「家だと体を動かす機会が少ない」といった内容が多く見受けられた。そのご要望に添いながら、当施設では児童の体作りや人間関係の向上も目指し、日々の活動で公園に行き体を動かして遊べるよう取り組みを行なっている。また、雨天時にはお店での買い物体験を行ない、活動を通してお金の勉強や好きなものの選択など出来るよう取り組んでいる。	児童の下校時間や安全面、公園内の固定遊具の種類などから、利用する公園が同じところに偏りやすくなってしまっている。学校の長期休みの際には、放課後の時間帯では行けない遠い場所にある公園などに行くことは出来ているが、日々の公園遊びにも偏り過ぎない配慮をして活動の充実に努めたい。また、集団遊びの中でもルールのある遊びや子ども同士のやり取りに主軸を置き、職員が介入し過ぎないようにしながら、人との関わり方を学べる機会を増やす等の配慮を行なっていく。
2	コミュニケーションの向上	利用児童一人一人のコミュニケーション能力に合わせて、絵カード・写真カード、マカトンサイン、ジェスチャー等の様々な視覚支援を活用し、全職員が共通・統一された支援を行なっていく取り組みをしている。言葉の表出が難しい児童でも快・不快、はい・いいえ、好き・嫌い等の選択や意思表示などが行ないやすい支援・環境作りを意識しながら重点的に取り組んでいる。同様に、音声言語での発語を目指し、まずは自分の名前から発声・発語の支援に取り組んでいる。	視覚支援の充実や拡充に努めてはいるものの、PECSなどは一人一人の児童に導入しきれていない。また、スマートフォンやタブレット端末などのアプリを活用してのコミュニケーションにも着手・挑戦が行なえていない。時代と児童に合わせて、最新の技術の活用や、児童に合った・応じた取り組みの強化をしていきたい。同様に、児童に対する職員のコミュニケーションが質の高い統一性のあるものに保てるようにしていく努力や工夫にも力を入れて取り組んでいきたい。
3	余暇活動の過ごし方・過ごせる時間	成人に向けて、余暇活動の過ごし方の充実を目指している。パズルや積み木、バランスボールなどのアナログなものから、タブレット、ノートパソコンなどデジタルなものも提供している。時間や場面で切り替えをすることができており、メリハリのある余暇活動ができています。	余暇活動の過ごし方の中で、職員を介さない自立した過ごし方ができるように興味のあるものを提供していく。余暇活動中にやりたいことを利用者本人に聞き、新たなアプリの導入や、玩具の購入をしていく。日々の療育の中でしっかりと利用者の好みや特性に合った遊びを見つけ、提案していき、余暇活動の幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内活動の充実	幅広い年齢層の児童、通常級・支援級・特別支援学校の別々の学校の児童が一同に来所する中で、それぞれの障がい特性や得手・不得手などから、集団での室内活動内容が限られがちになってしまっている。タブレットやパソコン、プロジェクターを使っのシアター上映や、卓球・風船&ビーチボールを使ったバレー遊びなど、体を動かしたり学びながら楽しく過ごせる場の提供も出来てはいるが、集団での運動遊び・サーキットや音楽（リズム）遊び、個別課題、SSTなどへの取り組みが少なくなってしまう。	外出による施設外活動が当事業所の強みではあるものの、雨天時や学校が長期休業の時の室内活動に関しても力を入れていきたい。現在でも児童が個々に室内での活動を楽しめているのは良い点の一つではあるが、集団で一つのことに取り組んだり、みんなで何かを考え・出し合い・理解や絆を深めていけるような活動への取り組みも強化していく。遊びだけでなく、工作やおやつ作りなどの活動も頻度を増やして、室内活動の内容充実を図っていく。
2	学習支援	通常級や支援級の児童の宿題や学習面への支援はあまり行なえていないのが現状である。放課後からの利用では下校時間と、基本的な当事業所のメイン活動の観点より学習支援が難しい場面が多い。一方で、ご家庭からは学習支援を求める一定のニーズもある。	毎日の学習支援は難しいが、ご家庭から学習支援要望がある児童に関しては、状況に応じて臨機応変に対応をしていく。雨天時や下校時間の早い日など、取り組みが可能そうな日は宿題を進める学習支援を行なっていく。また、夏休みや冬休みなど宿題が多く出る学校の長期休業時にはなるべく学習支援に取り組む。
3	地域交流	クリスマス会などの大きなイベント行事の際に、施設近隣に住んでいる方を招待し参加してもらうことはあるものの、地域との交流をもつ機会をすることの難しさも実感している。地域の公共施設の利用や、公園で出会う近隣の住民や児童との交流を重ねながら施設の認知度を高めて、ゆくゆくは地域に貢献できる事業所を目指す。	ボランティアの受け入れや、大きなイベント行事開催の際の近隣住民への告知や参加は継続していきながら、よりその頻度を高め質の高い交流を目指し、地域に根差した施設の在り方を模索していく。受け身だけでなく、施設側も地域のイベントや行事に参加したりと交流の幅を広げる努力を行なう。日々利用している公園の清掃活動に取り組むなど、地元から長く愛される施設としてより良い地域交流に努める。